

教科	福祉	科目	生活支援技術		必修・選択の別	必須
単位数	3	履修学年	3	履修学科	福祉科	
使用教科書	7 実教 福祉303 生活支援技術			副教材等	自主教材 新・介護福祉士養成講座 7 生活支援技術 II	
分割履修の有無(学年)	有(1, 2学年)			授業形態	一斉	

科目の到達目標	<p>○自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解する。</p> <p>○基礎的な介護の知識と技術を習得する。</p> <p>○様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を養う。</p>
習得させたい力	<p>○自立を支援する介護のあり方に関心、意欲を持って学び、加えて知識の定着と技術の向上を目指すことができる。</p> <p>○介護を実践していく上でその望ましい方法を利用者視点で考え表現できる。</p> <p>○基礎的な介護の知識のもと、利用者の生活状況を的確に把握し自立と安全を重視した活動を実践できる。</p> <p>○基礎的な介護のあり方、介護実践の根拠となる人体の構造や機能について理解でき、知識として身に付けている。</p>

学習の評価	評価の観点	A：十分満足できる B:おおむね満足できる C:努力を要する	
		評価の規準	Aとする具体的な姿
学習の評価	①知識及び技能	<p>基礎的な介護のあり方、介護実践の根拠となる人体の構造や機能について理解し知識として身に付けている。</p> <p>介護を実践していく上でその望ましい方法を利用者視点で考え表現する能力を身に付けている。</p>	<p>評価の規準を十分に満たし、実践する知識と技能を備えており、様々な場面で活用することができる。</p>
	②思考力, 判断力, 表現力等	<p>介護を実践していく上でその望ましい方法を利用者視点で考え表現する能力を身に付けている。</p>	<p>評価の規準を十分に満たし、身につけた知識と技術を活用して身近な課題を解決する能力と意欲がある。</p>
	③学びに向かう力, 人間性等	<p>自立を支援する介護のあり方に関心、意欲を持って学び、加えて知識の定着と技術の向上を目指す態度を身に付けている。</p>	<p>評価の規準を十分に満たし、授業や課題に真剣に取り組む姿勢があり、グループ活動等でリーダーシップを発揮することができる。</p>

提出物	学習を記録したプリント、レポート
評価方法	評価の観点別に、年4回定期考査、小テスト、提出物、レポート等の学習への取り組み状況などを総合的に評価
関連する資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士国家試験受験資格 ・介護職員初任者研修 ・社会福祉介護福祉検定1～3級

教科	福祉	科目	生活支援技術（介護）		必修・選択の別	必須
単位数	4	履修学年	3	履修学科	福祉科	
使用教科書	7 実教 福祉303 生活支援技術			副教材等	自主教材 新・介護福祉士養成講座7 生活支援技術II	
分割履修の有無（学年）	有(1, 2学年)		授業形態	一斉		

科目の到達目標	<p>(1) 自立生活の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>(2) 自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
習得させたい力	<p>○医療的ケアに関する基礎的知識を理解することができる。</p> <p>○医療的ケアの実施に伴い必要となる基礎的知識および技術を理解することができる。</p> <p>○喀痰吸引および経管栄養の実施手順と留意点を理解することができる。</p>

学習の評価	評価の観点	A：十分満足できる B:おおむね満足できる C:努力を要する	
		評価の規準	Aとする具体的な姿
	①知識及び技能	<p>・安全、安楽な医療的ケアを提供するための、人間の心身の構造や機能に関する基礎的な知識を身に付けている。</p> <p>・安全、安楽な医療的ケアを提供するためには、人間の心身の構造や機能を理解する必要があるということを理解している。</p> <p>・人間の心身の構造や機能を理解した上で、喀痰吸引及び経管栄養が必要な人に対する安全、安楽な技術を身に付けている。</p>	評価の規準を十分に満たし、実践する知識と技能を備えており、様々な場面で活用することができる。
	②思考力，判断力，表現力等	より安全で安楽な医療的ケアの提供を目指して、人間の心身に対する思考を深め、尊厳ある接し方について多面的・多角的に考察している。	評価の規準を十分に満たし、身につけた知識と技術を活用して身近な課題を解決する能力と意欲がある。
	③学びに向かう力，人間性等	医療職との連携と安全安心な医療的ケアのあり方に関心、意欲を持って学び、加えて知識の定着と技術の向上を目指す態度を身に付けている。	評価の規準を十分に満たし、授業や課題に真剣に取り組む姿勢があり、グループ活動等でリーダーシップを発揮することができる。

提出物	各演習の評価票、学習を記録したプリント、レポート
評価方法	<p>○授業への取り組み</p> <p>○提出物</p> <p>○テスト（実技テスト／小テスト）</p>
関連する資格・検定	介護福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目

教科	福祉	科目	コミュニケーション技術	必修・選択の別	必須
単位数	2	履修学年	3	履修学科	福祉科
使用教科書	7 実教 福祉305 コミュニケーション技術		副教材等	自主教材	
分割履修の有無(学年)	無		授業形態	一斉	

科目の到達目標	コミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得し、介護福祉援助活動で活用する能力と態度を身に付ける。
習得させたい力	<ul style="list-style-type: none"> ・介護を必要とする人を理解するための基本的なコミュニケーションの技法を習得することができる。 ・他職種協働におけるコミュニケーションや記録・情報の共有化等、介護におけるチームケアのためのコミュニケーションを理解することができる。

学習の評価	評価の観点	A：十分満足できる B:おおむね満足できる C:努力を要する	
		評価の規準	Aとする具体的な姿
	①知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの意義と役割を理解すると共に、基礎的・基本的な知識を理解することができる。 ・コミュニケーションに関する介護記録の重要性を知り、留意点まとめ、グループワーク・発表を行うことができる。 	評価の規準を十分に満たし、実践する知識と技能を備えており、様々な場面で活用することができる。
	②思考力, 判断力, 表現力等	対人援助におけるコミュニケーションの諸問題について考えると共に、介護を必要とする人の自立生活支援の現状について考えることができる。また、考えたことを他者に発表することができる。	評価の規準を十分に満たし、身につけた知識と技術を活用して身近な課題を解決する能力と意欲がある。
	③学びに向かう力, 人間性等	コミュニケーションの意義と役割に関心を持ち、意欲的に学習することができる。	評価の規準を十分に満たし、授業や課題に真剣に取り組む姿勢があり、グループ活動等でリーダーシップを発揮することができる。

提出物	学習を記録したプリント、レポート、課題プリント
評価方法	評価の観点別に、年4回定期考査、小テスト、提出物、レポート等の学習への取り組み状況などを総合的に評価
関連する資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士国家試験受験資格 ・社会福祉介護福祉検定1・2級

教科	福祉	科目	生活支援技術		必修・選択の別	必須
単位数	1	履修学年	3	履修学科	福祉科	
使用教科書	なし			副教材等	中央法規 新介護福祉士養成講座 第10巻介護総合演習・介護実習	
分割履修の有無(学年)	有(1, 2学年)		授業形態	一斉		

科目の到達目標	○福祉に関する事例研究などの学習を通して、自己覚知を図りながら、様々な課題を発見し、解決に導く能力を身につける。
習得させたい力	○2年次までの福祉科目で学習した内容を活かして、地域社会や家庭生活での健康や介護に関する課題解決の能力を育てる。

学習の評価	評価の観点	A:十分満足できる B:おおむね満足できる C:努力を要する	
		評価の規準	Aとする具体的な姿
	①知識及び技能	事例研究などの学習を通して、福祉に関する知識と技術の深化、総合化を図っている。福祉に関する諸活動を合理的に計画し、地域社会や家庭生活に活用出来る能力を身に付けている。	評価の規準を十分に満たし、実践する知識と技能を備えており、様々な場面で活用することができる。
	②思考力, 判断力, 表現力等	事例研究などの学習を通して、福祉に関する知識と技術の深化、総合化を図っている。	評価の規準を十分に満たし、身につけた知識と技術を活用して身近な課題を解決する能力と意欲がある。
	③学びに向かう力, 人間性等	課題解決能力や自発的、創造的に取り組む姿勢を身につけている。	評価の規準を十分に満たし、授業や課題に真剣に取り組む姿勢があり、グループ活動等でリーダーシップを発揮することができる。

提出物	○授業で使用したファイル, 事例研究に関わる記録物等
評価方法	○定期考査(年4回) ○授業への取り組み姿勢, 提出物(事例研究に関わる記録物等) を総合的に評価
関連する資格・検定	介護福祉士国家試験受験資格

教科	福祉	科目	介護総合演習		必修・選択の別	必須
単位数	1	履修学年	3	履修学科	福祉科	
使用教科書	なし			副教材等	中央法規 新介護福祉士養成講座 第10巻介護総合演習・介護実習	
分割履修の有無（学年）	有(1, 2学年)		授業形態	一斉		

科目の到達目標	<p>○介護演習や事例研究などの学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図る。</p> <p>○課題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。</p>
習得させたい力	<p>○介護実習の事前・事後指導を通して、総合的な学習を行うことで、介護実習を円滑に進め、介護実習の課題や成果を明確にする。</p>

学習の評価	評価の観点	A：十分満足できる B:おおむね満足できる C:努力を要する	
		評価の規準	Aとする具体的な姿
	①知識及び技能	介護演習や事例研究などの学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図っている。社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、福祉に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	評価の規準を十分に満たし、実践する知識と技能を備えており、介護実習等の様々な場面で活用することができる。
	②思考力，判断力，表現力等	介護演習や事例研究などの学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図っている。	評価の規準を十分に満たし、身につけた知識と技術を活用して身近な課題を解決する能力と意欲がある。
	③学びに向かう力，人間性等	他者と連携して課題解決する能力や自発的、創造的な学習態度を身につけている。	評価の規準を十分に満たし、授業や課題に真剣に取り組む姿勢があり、グループ活動等でリーダーシップを発揮することができる。

提出物	○レポート，課題，学習プリント
評価方法	<p>○定期考査（年4回）</p> <p>○授業への取り組み姿勢</p> <p>○提出物（事例研究に関わる記録物等）を総合的に評価</p>
関連する資格・検定	介護福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目

教科	福祉	科目	介護実習（介護類型）		必修・選択の別	必須
単位数	4	履修学年	3	履修学科	福祉科	
使用教科書	なし			副教材等	中央法規 新介護福祉士養成講座 第10巻介護総合演習・介護実習	
分割履修の有無（学年）	有(1, 2学年)			授業形態	一斉（各実習施設にて集中実習）	

科目の到達目標	○利用者の生活の場である多様な介護現場において、利用者の理解を中心とし、併せて利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践、多職種協働の実践、介護技術の確認等を行う。
習得させたい力	○実習Ⅰ 多様な介護現場における実習（障害者支援施設・同行訪問・グループホーム・入所施設） ・様々な生活の場における個々の生活リズムや個性を理解した上で、個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じたチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。 ○実習Ⅱ 個別ケアのための継続的な実習（入所施設） ・継続した実習を行う中で、サービス利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価、介護計画の修正など一連の介護過程を実践する。

学習の評価	評価の観点	A：十分満足できる B:おおむね満足できる C:努力を要する	
		評価の規準	Aとする具体的な姿
	①知識及び技能	様々な生活の場における個々の生活リズムや個性を理解した上で、個別ケアを理解し、多職種協働や関係機関との連携を通じたチームの一員としての介護福祉士の役割について理解している。	評価の規準を十分に満たし、実践する知識と技能を備えており、介護実習等の様々な場面で活用することができる。
	②思考力，判断力，表現力等	多職種協働や関係機関との連携を通じたチームの一員としての介護福祉士の役割について理解している。	評価の規準を十分に満たし、身につけた知識と技術を活用して身近な課題を解決する能力と意欲がある。
	③学びに向かう力，人間性等	利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践，多職種協働の実践，介護技術の確認等を行う態度を身につけている。利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践，多職種協働の実践，介護技術の確認を行っている。	評価の規準を十分に満たし、授業や課題に真剣に取り組む姿勢があり、グループ活動等でリーダーシップを発揮することができる。

提出物	○レポート，課題，学習プリント
評価方法	・実習への取り組み（出席日数が規定を満たしている／校外外における実習態度が良好である） ・日誌等の提出物 ・実習指導者からの評価と実習指導担当教員からの評価等を総合して評価する
関連する資格・検定	介護福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目

教科	福祉	科目	こころとからだの理解	必修・選択の別	必修
単位数	3	履修学年	3	履修学科	福祉科
使用教科書	実教出版 こころとからだの理解		副教材等	新・介護福祉士養成講座11 こころとからだのしくみ 新・介護福祉士養成講座13 認知症の理解 新・介護福祉士養成講座14 障害の理解	
分割履修の有無(学年)	有(1、2学年)		授業形態	一斉(座学)	

科目の到達目標	<p>○自立生活の支援に必要なこころとからだについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>○自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>○健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
習得させたい力	<p>介護を実践するための人間の理解に必要な資質・能力を育成する。</p> <p>○介護に従事する者として、人間の心身の構造や機能を理解できる。</p> <p>○要介護者に対して安全で安楽な介護技術を提供することができる。</p> <p>○人間の心身に対する思考を深め、尊厳ある接し方ができる。</p>

学習の評価	評価の観点	A:十分満足できる B:おおむね満足できる C:努力を要する	
		評価の規準	Aとする具体的な姿
	①知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者に対し安全、安楽な介護技術を提供するための、人間の心身の構造や機能に関する基礎的な知識を身に付けている。 ・安全、安楽な介護技術を提供するためには、人間の心身の構造や機能を理解する必要があるということを理解している。 	評価の規準を十分に満たし、実践する知識と技能を備えており、様々な場面で活用することができる。
	②思考力, 判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・より安全で安楽な介護技術の提供を目指して、人間の心身に対する思考を深め、尊厳ある接し方について多面的・多角的に考察している。 	評価の規準を十分に満たし、身につけた知識と技術を活用して身近な課題を解決する能力と意欲がある。
	③学びに向かう力, 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・介護に従事する者として人間の心身に関心をもち、より安全で安楽な介護技術の提供を目指して意欲的に取り組んでいる。 	評価の規準を十分に満たし、授業や課題に真剣に取り組む姿勢があり、グループ活動等でリーダーシップを発揮することができる。

提出物	学習を記録したプリント、レポート
評価方法	評価の観点別に、年4回定期考査、小テスト、提出物、レポート等の学習への取り組み状況などを総合的に評価
関連する資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士国家試験受験資格 ・介護職員初任者研修 ・社会福祉介護福祉検定1～3級

教科	福祉	科目	介護過程		必修・選択の別	必須
単位数	4	履修学年	3	履修学科	福祉科	
使用教科書	7 実教 福祉306 介護過程		副教材等		自主教材	
分割履修の有無（学年）	無		授業形態		一斉	

科目の到達目標	<p>(1)介護過程について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>(2)介護過程の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3)健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護過程の適切な展開に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
習得させたい力	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の意義や役割を理解するとともに、情報収集とアセスメント、生活課題の分析、介護計画の立案と実施等、サービス利用者主体の介護過程を展開する技術を身に付ける。 ・地域を基盤とした生活の継続性を尊重した介護過程の実践に必要な資質・能力を養う。

学習の評価	評価の観点	A：十分満足できる B:おおむね満足できる C:努力を要する	
		評価の規準	Aとする具体的な姿
	①知識及び技能	・介護過程について体系的・系統的に理解し、情報収集とアセスメント、生活課題の分析、介護計画の立案と実施等、サービス利用者主体の介護過程を展開することができる。	福祉の他の科目で学んだ知識と技術を統合して、地域における生活と関連させながら理解し、介護過程を展開することができる。
	②思考力、判断力、表現力等	・介護過程の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。	介護過程の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、解決することができる。
	③学びに向かう力、人間性等	・健全で持続的な社会の構築を目指して、自ら学び、介護過程の適切な展開に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	サービス利用者主体の介護過程を展開するため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協働的に取り組むことができる。

提出物	学習を記録したプリント、レポート、介護計画
評価方法	評価の観点別に、年4回定期考査、小テスト、提出物、グループ活動、介護計画の立案等の介護過程を展開する学習活動への取り組み状況などを総合的に評価
関連する資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士国家試験受験資格 ・社会福祉介護福祉検定1・2級